JGA 全国通訳案内士研修テキスト【2】関東(清水港)

エリア別案内マニュアル　改訂 2024 年 1 月

目　次

１．実習にあたって ……1

２．都内 ……3

３．日光 ……39

４．富士山・箱根 ……50
　富士山エリア ……52
　箱根エリア ……57

５．鎌倉 ……66

６．横浜 ……73

７．清水港からのショアエクスカーション ……87

この冊子は、一般社団法人日本観光通訳協会（JGA）の全国通訳案内士新人研修会をはじめとする研修のテキストとして使用しています。

本テキストは 2024 年 1 月 15 日現在のデータ・事情に基づいて編集しています。施設の環境や各種サービス、規則等の運用ルール、その他の諸事情は、刻々と変わっていきます。常に下見や確認をし、最新の情報を得るよう心がけてください。なお、本テキストに記載した施設・サービスの中には、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の世界的流行による観光客の激減や国際航空便の減便の影響、また、感染拡大防止措置の観点から一時的に休業・閉鎖したり、サービスを縮小・変更・休止したりしていたものがあります。2023 年にはインバウンドを含む観光が急速に回復しましたが、施設・サービスの再開状況はさまざまです。人手不足によりサービスが縮小されたままのケースもあります。利用する前に必ずその時点での状況を確認してください。なお、本文中では関連する状況・事情を「コロナ禍」と短縮して表記しています。

©2024 年 一般社団法人日本観光通訳協会　許可のない複製・転載は一切禁じます

【浅草エリア】

浅草

通年、平日でもにぎわう東京一の観光名所。浅草寺だけでなく、仲見世でのショッピング、お祭りのように賑わう雰囲気を味わうなど、楽しみ方もさまざまだが、ガイドにとっては迷子・遅刻の名所でもある。境内と周辺が明確に区切られずに一体化した、街歩きのような要素のある訪問地であること、買い物の誘惑、人出の多さ、交通手段によって動線が複雑なこと、フリータイムをとることが多く行動範囲が広いことなどが理由。

迷子を出さないよう、観光の流れ（どこまで団体で行くのか、フリータイムをとるのか、など）を明確に伝える必要がある。バスの場合は、降車場所と乗車場所が異なる場合が多い（後述）ので、はぐれると合流が難しいことを理解してもらう。フリータイムをとる場合には、分かりやすい集合場所を設定し、解散前に集合場所への戻り方（はっきりした目印など）を案内する。境内の主な建物（浅草神社、浅草寺本堂、五重塔、宝蔵門、雷門）・仲見世・集合場所の位置関係をきちんと示しておくことが大事。絵地図などを用意して説明するのも効果的（特に多国籍・多言語のお客様が乗り合わせる場合）。尚、「赤い大きな提灯」は雷門だけでなく、宝蔵門、浅草寺本堂にもかかっている。また、集合場所・時間を案内する前にはぐれる人が出ないよう、誘導に注意する。

回り方や時間配分は、交通手段・人数・観光目的（買い物時間をとるか）・お客様の様子などを考慮して判断することになる。浅草寺東側の二天門側から境内に入るか、南側の雷門・仲見世側から入るか。団体の場合、仲見世をバラけずに歩くのはかなり難しい（混雑に圧倒される、買い物の誘惑）ことに十分注意して準備する。また、交通機関の組み合わせや時間などの状況によっては、まだ見ていない場所を集合場所にせざるを得ないことがある。口頭で説明して分かりやすい場所を選ぶとともに、どう表現して案内すればお客様はそこへ行き着けるのか、よくよく考える。「五重の塔前」などと言っても、お客様には何が五重の塔か分からないこともある。案内図を配布したり、写真を見せたりするのも有効。

- 所要時間はコースによるが、浅草寺・浅草神社の案内に約 30～45 分＋フリータイム。移動時間も勘案すること。案内しながらの雷門～二天門は最低 45 分。
- 行事が多いので常に確認を。初詣、花見、5 月の三社祭、7 月の隅田川花火大会は特に混雑し、渋滞や交通規制もある。ほおずき市、羽子板市などは浅草の風物詩。金龍の舞、白鷺の舞といった年中行事もある。屋台や出店、催しの舞台などで境内の様子が違うこともしばしば。屋台などで境内の見通しがきかないこともある。三社祭の神輿渡御やその他イベントのため、香炉が移動されたり、宝蔵門（仁王門）・雷門の提灯がたたまれたりすることもある（台風等が予想される際も）。
- 仲見世はバザールのようにも見えるが定価販売方式。クレジットカードは各店次第。飲食物を持って店に入らない。食べ物は購入した店の前で食べる。食べ物で汚れた手で商品を触らない。スリ、置き引き注意。
- 人力車　大小 10 社以上あり、雷門前をはじめ各所で客待ち・客引きをしている。
- 浅草文化観光センター：雷門から道をへだてた向かい。外国語での観光情報、外貨両替所、トイレ、休憩場所。8 階のテラス（無料。スペースは広くない）からはスカイツリーや浅草寺境内を眺められる。隈研吾設計。

観光バスによる浅草観光

2017 年 2 月より台東区観光バス予約システムが導入され、区営の観光バス駐車場・乗車場が予約制となり、また、降車場と乗車場が分離された。降車場は予約なしで随時利用できるが長時間の停車・待機はできない。駐車場・乗車場はインターネットで 7 日前までに事前予約が原則。当日も空きがあれば駐車場の利用が可能だが、全く空きが無いリスクも高い上、乗車場と駐車場の予約はセットのため、駐車場を確保するまで、乗車場の場所・時間を確定できない。事前予約ができない場合、浅草観光をどのように行うのか、旅行会社との打ち合わせ時によく確認のこと。民間駐車場や周辺ホテルの駐車場を利

4．富士山・箱根

富士山、箱根、鎌倉は、それぞれ東京からの日帰り旅行先として人気。富士山＋箱根、箱根＋鎌倉、鎌倉＋横浜の組み合わせもある。また、富士山周辺や箱根で宿泊し、翌日、他都市へ移動することもある。公共交通機関利用の場合と、バス・専用車利用とで、所要時間・訪問順・訪問箇所などが大きく異なり、また、見える景色も違うので留意のこと。

バスツアーの場合、行き帰りや各エリア間の移動に長距離・長時間のドライブを含む。1 日の大まかな日程を案内する際には、東京と訪問地の位置関係や、どこでどの程度の時間を過ごし、どんなアクティビティーがあるのか、バスでの移動がどれくらいかかるのかを大まかにイメージできるよう案内すると、お客様もペース配分ができる。

ロングドライブ中のガイディングも大事。車窓の風景や訪問地に関連した話題だけでなく、移動時間を利用して日本のさまざまな顔を紹介するチャンス。お客様も質問をしやすい時間。日頃から豊富な話題を準備し、統計資料などもチェックしておく。

週末は渋滞するポイントが多い。連休は特に注意。

東京→横浜　ルートの例（都内の出発エリアによりルートの選択が異なる）

首都高台場線－レインボーブリッジ（お台場）－首都高湾岸線－東京港トンネル－（大井の新幹線車両基地）－（羽田空港）－多摩川トンネル－川崎航路トンネル－（川崎、扇島の工業地帯　火力発電所、JFE スチール）－鶴見つばさ橋－横浜ベイブリッジ（みなとみらい 21）

横浜→鎌倉（大仏）　ルートの例

釜利谷 JCT・横浜横須賀道路－朝比奈峠（鎌倉霊園）－金沢街道－鶴岡八幡宮－若宮大路・段葛－下馬—長谷寺入口－高徳院大仏

鎌倉→箱根　ルートの例

国道 134 号－（江ノ電、稲村ヶ崎、七里ヶ浜、江ノ島）－茅ヶ崎、平塚、大磯ロングビーチ－西湘バイパス（相模湾）－小田原－箱根新道－芦ノ湖大観 IC－芦ノ湖

＊国道 134 号線は慢性的に渋滞　特に週末・休日

＊箱根の芦ノ湖方面でなく、宮ノ下・強羅方面に行く場合には、小田原より国道 1 号線

東京→富士山　ルートの例

中央自動車道－（調布味の素スタジアム、府中 JRA 東京競馬場）－圏央道八王子 JCT－（高尾山）－小仏トンネル（1642m 長）－相模湖－談合坂 SA－大月 JCT－山梨リニア実験線－富士急ハイランド－河口湖 IC

＊中央道の渋滞

富士山→箱根　ルートの例

東富士五湖道路－北富士演習場－須走 IC－138 号線－御殿場市内－東名高速御殿場 IC－（平和公園仏舎利塔）－乙女峠－仙石原－75 号線－芦ノ湖・桃源台

＊週末・休日の東富士五湖道路は渋滞することがある。

＊御殿場 IC 付近は、御殿場アウトレット利用車で渋滞することがある。

7．清水港からのショアエクスカーション

2019 年に開港 120 周年を迎えた清水港は、富士山を仰ぎ、神戸・長崎とともに日本三大美港とも言われる。近年、客船誘致に力を入れており、寄港回数が増加を続けている。2019 年の GW には 3 隻同時寄港の賑わいとなった（1 隻は興津第二埠頭）。主に利用される日の出埠頭への入出港時には、歓迎セレモニーや各種の演技・演奏などがしばしば行われ、岸壁に特産品や土産物などの店が出たり、ターミナル内に和装や茶道などの日本文化体験コーナーが設置されたりする。（興津など日の出埠頭以外に着岸の場合、関係者以外立ち入り禁止のこともある。）

大型客船の寄港時には関東や中部方面からも広くガイドが集められる。清水港での停泊は半日から 1 日。3～4 時間のツアーでは、静岡市内が一般的だが、東名高速に近く移動の便が良いことから、長いツアーでは富士山や箱根など遠方まで足をのばすこともある。訪問地についてだけでなく、車中の話題として、家康や慶喜をはじめとする徳川家とのつながり、東海道、静岡茶、マグロ（清水港は遠洋マグロの取扱量日本一、静岡県はマグロ類の缶詰生産量日本一）、サッカーなどをキーワードに関連するトピックを広く調べておくと良い。清水港から駿府城公園など静岡市中心部方面に向かう場合の選択肢の一つ、久能山下を通る国道 150 号線は「石垣いちご」の栽培が行われる「いちご海岸通り」で、清水港に向かう場合には駿河湾と富士山を望む（国道 1 号線など他の道を通る場合もある）。東名高速を東方向に向かう場合は、富士山を前方にする。富士川 SA は上り下りとも富士山が望める。また、昼食を含まないツアーもあり、下見の際には飲食店やスナック類、コーヒー、アイスなどの売店もチェックしておく。（参照：テキスト【1】「クルーズ」 ）

日の出埠頭

船客は直接、岸壁に下りてくる。ショアエクスカーション用のバスは岸壁端で待機する。船会社主催のオフィシャルツアーでないバスは入れず、周辺の道で乗降することが多い。岸壁端方向に富士山が見える。（船客が富士山に気づいていないことも多い。）岸壁入口にある清水マリンターミナル 1 階にトイレあり。

【三保の松原】

白砂青松の景勝地。清水港の南、天然の防波堤ともなっている砂嘴（さし）・三保半島の海岸沿い約 7km に渡る松林。防風林として保護・植林された松はクロマツを中心に現在約 3 万本と言われる。羽衣の松や神の道周辺には樹齢 250～300 年と推定される老松も多いが、松枯れが問題になってもいる。2013 年にユネスコの世界文化遺産に登録された「富士山ー信仰の対象と芸術の源泉」を構成する資産の一つであり、その景観が古くから歌枕や絵の題材となってきた。羽衣伝説の舞台とされる地の一つでもあり、10 月に行われる「羽衣まつり」では薪能で「羽衣」が上演される。観光で訪れるのは、「羽衣の松」の周辺。「羽衣の松」は神の降りる依り代ともされ、砂浜から御穂神社にいたる約 500m の参道は「神の道」と呼ばれる。

松の保護と松原の環境保全が課題になっており、様々なルールが設けられている。

清水港日の出埠頭からバスで 15 分程。尚、世界遺産への登録は「三保松原」。長く表記されてきた「三保の松原」と混在している。

観光バスについて

松原の環境保全のため、バス駐車場は松原から徒歩 15～20 分ほど離れた御穂神社近くに整備された。三保松原観光バス専用駐車場（無料、予約不可、トイレ有り。車イス貸し出しあり）。松原への徒歩移動が長いことが課題だったが、2019 年に松原近くに観光バス乗降場が設置された（乗降のみ。駐車は不可）。ただし、バス乗降については何度か運用ルールが変更されているため、特に多客期には確認をした方がよい。問い合わせは後述の「みほしるべ」へ。乗降場以外での路上乗降は厳禁。

タクシーや乗用車は、松原入口まで進入できる。